

あさみ会報

朝見まちづくり協議会
あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三千夫
松阪市大宮町209-4
朝見地区市民センター内
電話 0598-62-0007
2007.03.07 発行
第 11 号

お知らせ
クラブ、団体の紹介
コーナーは紙面の
関係で次号に掲載
します。
編集事務局より

津市芸濃地域まちづくり研究会が朝見を視察

松阪市と伊賀市の住民協議会で交流会

活発な意見交換で学ぶ機会となった!

伊賀市東部地域住民自治協議会

松阪市三住民協議会で交流会を開催

朝見の活動をスライドで紹介する

津市芸濃町から視察
芸濃地域まちづくり
研究会が来朝見

研究会が来朝見

朝見のまちづくり

経過を説明!

平成十九年二月十日午前
十時朝見市民センターにて
津市から芸濃地域まちづく
り研究会(紀太功会長)の代
表十一名が視察に訪問、朝
見まちづくり協議会役員と
意見交換会を行なった。当
研究会は旧芸濃町の地域で
住民協議会の設立に向けて
活動を進められ、今回の交
流となった。始めに田村正
朝見まちづくり協議会会長
が、よこそこそ朝見の地域
を紹介しながら歓迎の挨拶
を述べた。芸濃地域まちづ
くり研究会の紀太功会長は
自分たちの地域は自分たち
でつくるという住民自治を
目指して、まちづくりの啓
発活動や地域に合った

まちづくりに奮闘している、今
回の交流会をこれからの住民
協議会設立に生かして行きたく
いと挨拶があった。続いて朝見
が制作したスライドを上映し
た。このスライドは朝見まちづ
くり協議会の設立までの経過
を平成十六年から本年までを
約三十分間にまとめたもので
す。このスライド上映にはナレ
ーションに牧戸由美さん奥出
加代子に協力してもらいま
した。内容は最後のまとめとし
て①行政を信頼する、行政に
信頼される関係こそが、行政
とは協働していく要であること
②設立前後を含め問題が起き
た時は前向きにとらえ、協議
として解決すること③協議会
の運営にはいつも理念を基本
とすること④常に地域住民の
信頼を得ること⑤全ての事業
計画は成功するように努力す
ること⑥共に自らの切磋琢磨
を忘れないこと等々、上映後
は意見交換会に入り、研究会

から活発な質問を受け、設立
のきっかけ、住民の理解を得る
ための努力、組織構成はどの
ような団体で構成され活動し
ているのか、協議会の運営、各
種団体との関わり、活動予算
など具体的な意見交換となつ
た。

作したスライドを上映した。ス
ライドは五十九画面三十分間
を設立から今日までの活動を
紹介した。休憩の後四分散会
に別れ意見交換会が行われ、
住民協議会活動の具体的な
問題点で活発な意見が交わさ
れた。分散会の後、謝辞に立った伊
賀市住民協議会今高会長は
今回の交流会をきっかけに今
後活発に交流会を行ないたい
と挨拶、閉会の挨拶には掃水
住民協議会久瀬会長が有意
義な交流会であり、これを機
に住民協議会の活動に全力で
臨んでいきたいと結んだ。



芸濃地域まちづくり研究会の皆さんと意見交換会の様子

伊賀市東部地域住民自治協議会と
松阪市三住民協議会が交流会

朝見は代表十名が

参加して活動を紹介

分散会でも活発な

意見交換をおこなう

二月二日 松阪市嬉野中
川町中川コミュニティセンタ
ーにて一三時三十分から開催
される。今回の交流会は住民
協議会を設立している所がよ
り良い住民協議会運営をして
行きたいと開催された。松阪
市からは嬉野中川、掃水、朝
見が参加。歓迎挨拶に嬉野中
川住民協議会会長が行い、来
賓挨拶に乾員政部長が行い、来
交流会の意義を述べ、西村勇
喜松阪市自治会連合会長がこ
の機会を通して住民協議会の
活躍こそが松阪・伊賀両市の
発展になるとエールを送り祝
賀とした。その後伊賀市住
民協議会の今高一三会長が地
域の概要と活動の模様を説明
続き嬉野中川住民協議会か
ら本多孝雄会長、そして掃水
住民協議会久瀬幸会長が地
域の概要と活動を報告した。
朝見住民協議会は田村正会
長が挨拶を行い自分たちで製



分散会の意見交換会



交流会全体集会

青少年育成講演会

講演 育てよう!

あさみっ子!

未来っ子!

作文コンクール表彰式

テーマ「ふれあい」で公募する

青少年育成部会は昨今虐待

やイジメや青少年を巻き込む

殺人など大きな社会問題とな

っている。地域でも安全な地域

づくりが一番の関心事となつて

います。このような中「ふれあ

い」を通じて人の中にある優し

さを育む機会になればと企

画・公募がなされた。この企画

には朝見連合自治会、朝見公

民館、朝見小学校が共催をし

進められた。また、同時に講演

会を開催した。講師には地元

で長年に渡り自立更生の活動

をされている松阪市保護司会

会長の橋本一男氏が若き日の

経験を通じて家庭や地域や友

とのふれあいの中にこそ人間と

しての成長があると語った。

《優秀作文は裏面に掲載》



表彰状を手に講演を聞き入る優秀賞の皆さん

災害時協力企業紹介

- (大宮田) 茂谷工務店・珍田木材有限会社・大塚建設株式会社・上川運送株式会社 (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設 (佐久米) 小林ファームライスセンター (立田) 宝山石油株式会社・株式会社伊勢クレーン・荒木田製材所・中尾木材有限会社・株式会社ミック・殿治春建設有限会社 (古井) 有限会社松井工務店・神産業有限会社・エムエフマツト有限会社・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 宮前クレーン (上七見) 鈴木為郎農産・岡橋本電機・奥村農産 (和屋) ススキ産機有限会社・溝口土建・井上組・有限会社安達建設

